

# 【平成27年度新規】市町村がん検診受診率アップ推進事業

## 【現状・課題】

### 《現状》

### がん検診受診率(%)

### 〇国がん方式(市町村検診)

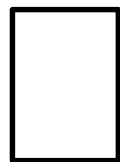
	H20	H21	H22
胃がん	19.3	19.6	19.3
肺がん	19.4	20.1	19.8
大腸がん	23.2	23.7	23.9
乳がん	17.4	24.3	26.7
子宮がん	20.7	22.8	26.6

## 【事業の概要】

基準年度よりがん検診受診者が増加した市町村に対し、増加した経費の1/2を助成する。

(〇〇町胃がん検診)

受診者  
増加分



25年度  
(基準年度)



27年度

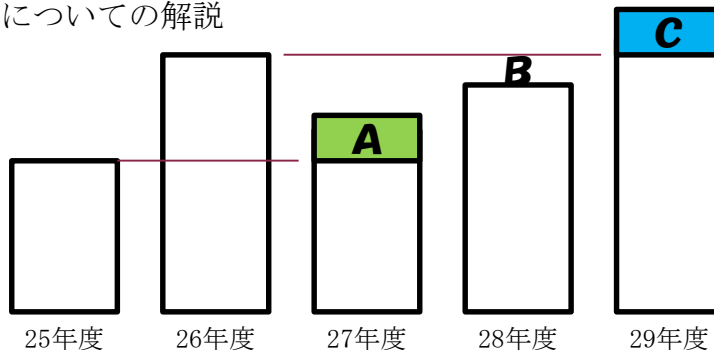
### (補助額算定式)

$$\text{受診者数増加分} \times \text{基準単価} \times 1/2$$

- ・各検診ごとに算定
- ・基準単価は各検診ごとに設定

基準年度：H27年度事業ではH25年度とし、H28年度事業以降は、がん検診種別毎にH25年度以降受診者が一番多い年度とする。

がん検診受診者数が下図の場合の補助  
についての解説



## 【評価指標、目標】

これまでの県民・企業等に対する啓発活動に加え、市町村の検診費用の一部を補助



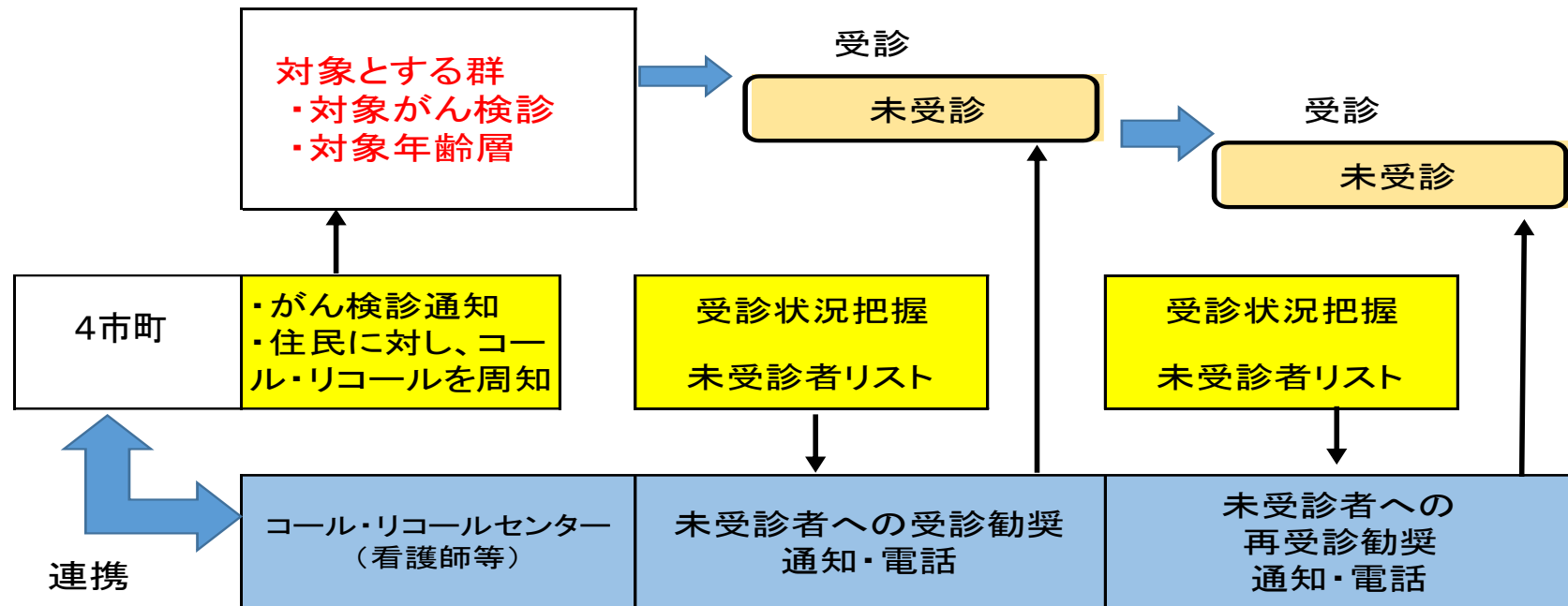
第二期青森県がん対策推進計画におけるがん検診受診率の目標値50%の達成をめざす。



\*既に国庫補助が入っている部分は補助の対象外となります。

# 【平成27年度新規】がん検診コール・リコールセンターモデル事業

県総合健診センターに、市町村が実施するがん検診のコール・リコールを専門に行うセンターを県がモデル的に設置し、コール・リコールによる受診勧奨の効果を測る。(県内4市町で実施)



## ＜事業参加のための必須条件＞

実施市町村における役割を満たしていること

- ・台帳(受診履歴、電話番号、その他情報など)の整備
- ・住民に対する事業実施の周知
- ・受診結果の把握

# かかりつけ医による健(検)診コール・リコールについて

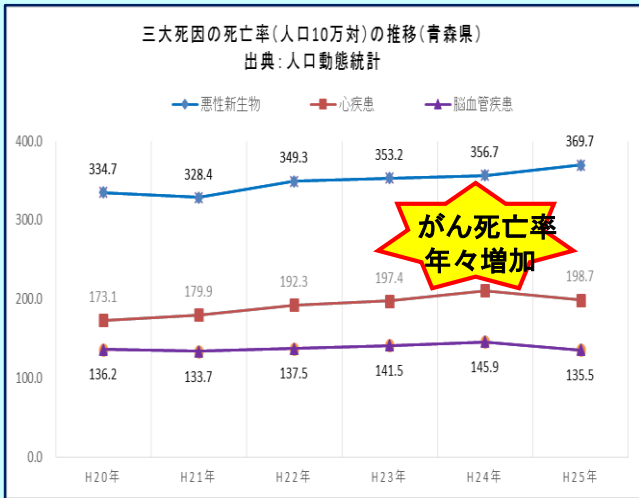
## 本県の現状

働き盛り世代の死亡率が高く、男女ともに全国との差が顕著となっている。がん検診受診率、特定健診受診率とも伸び悩んでおり、目標に届いていない。

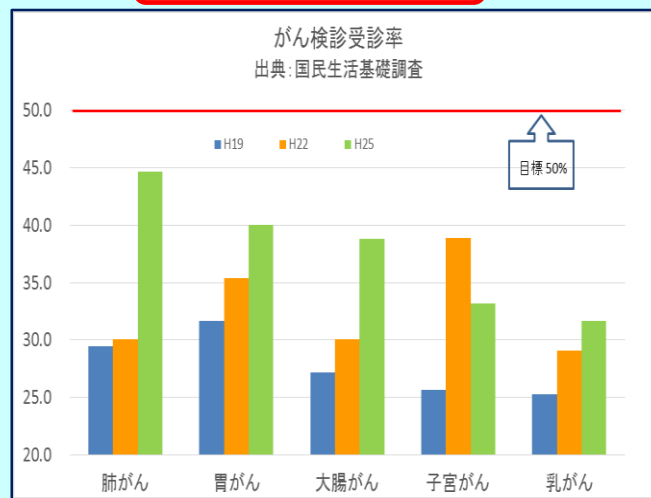
## 課題

健(検)診未受診の理由として、通院中が多く、かかりつけ医との連携が重要

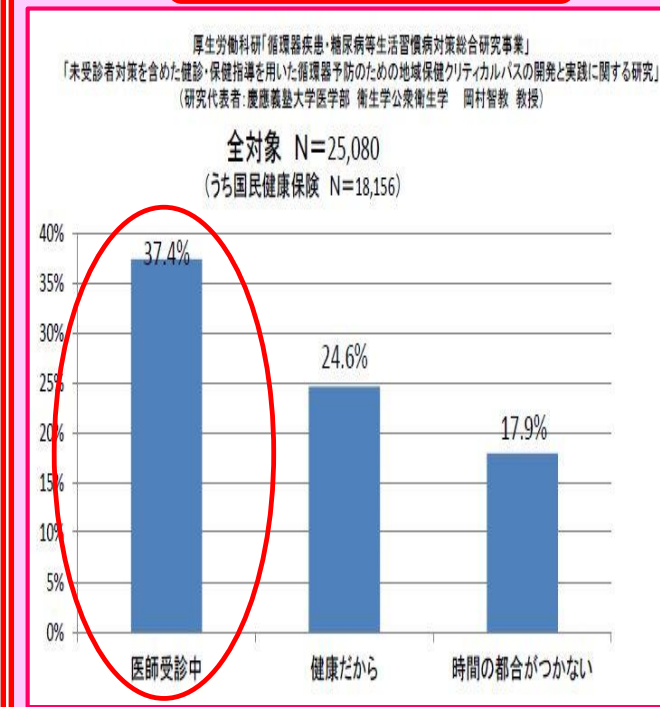
### 死亡率の推移



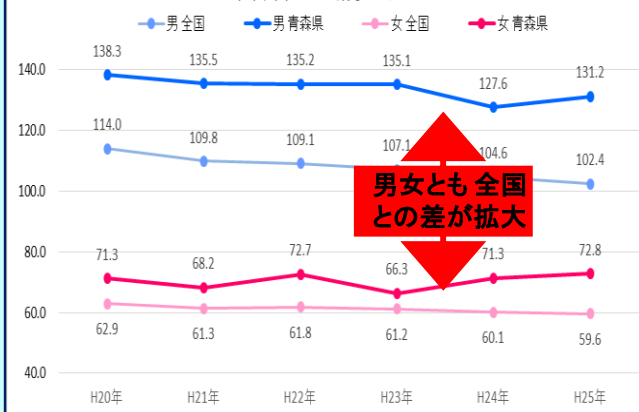
### 健(検)診受診率



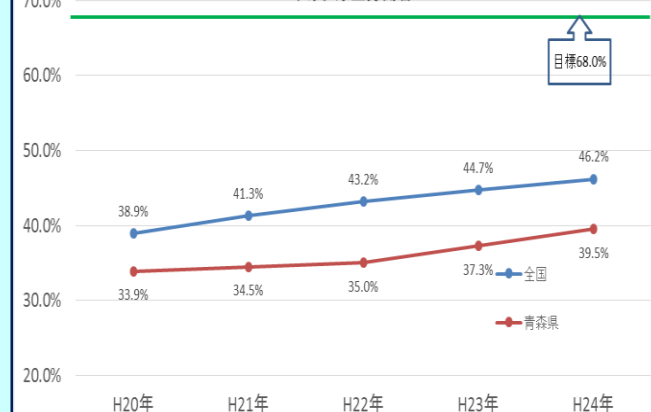
### 特定健診未受診理由



### がん年齢調整死亡率(75歳未満・人口10万対・男女別)



### 特定健康診査受診率



かかりつけ医からの受診勧奨が効果的

# かかりつけ医による健(検)診コール・リコールの概要

慢性疾患等で定期的に医療機関を通院している40～69歳を対象として、かかりつけ医が受診状況を確認して、未受診者に対し、受診勧奨を行うものである。

## <かかりつけ医による健(検)診コール・リコールの流れ>

### かかりつけ医



受診勧奨連絡票に受診状況等を記入

#### ①対象者

・受診状況連絡票に健(検)診受診状況を記入



#### ②かかりつけ医

・健(検)診未受診者へ受診勧奨



#### ③対象者

・健(検)診受診状況等や受診結果を報告



#### ④かかりつけ医

・受診状況の確認  
・要精検者で、精検が未受診の場合は受診勧奨



#### ⑤かかりつけ医

・県へ受診状況連絡票を送付(H28年1月中)



### 対象者(40～69才)



青森市に問合せ、申込



健(検)診受診



青森県



(1～3月)

・結果集計  
・医師会、協力医療機関へ集計結果を送付

# 現状のトップ画面

## コンテンツ

- ①がん医療機能情報検索
- ②がん相談の事例集
- ③がん患者の体験 ※音声
- ④がんを学ぶ ※動画
- ⑤がん患者団体情報
- ⑥青森県の取組みと各種統計
- ⑦関係機関リンク



## 個別の課題と対応案

・使用する素材が、一般的に広く使われている素材集のものであり、青森県と関係ない写真  
→青森県らしさを出したイラストを使用

・コメントが一般的で、県民に伝わりにくい。  
→具体的に、がん検診と喫煙対策について言及

・この表現では動画・音声が入っていることがわからない。  
→入っていることがわかるよう、表示

・「関係機関リンク」から他サイトへジャンプするユーザーは少ない。  
→削除

## 全般の課題と対応案

・表示が分かりにくい  
(中身が何かクリックしてみないと分からない)  
→トップ画面上に項目表示

・コンテンツのブロックが大きく、ほとんどがリンクのない写真や絵でスペースが取られている。  
→コンテンツのブロックをコンパクトにし、少ないスペースでリンクを表示

# ライフステージに応じた喫煙防止対策

現 状			子ども	妊婦	若年層	壮年層	目 標	
喫煙率	H22	H25	<b>喫煙防止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>未成年者喫煙等実態調査</li> <li>学習指導要領に基づく喫煙に関する学習（小中高校）</li> <li>未成年者喫煙防止対策検討会（県）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年層の喫煙調査（国・県）</li> <li>妊婦連絡票による喫煙状況の把握（県、市町村）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙治療医療機関従事者等研修会（県）</li> <li>禁煙治療サポート事業（県）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙治療実施医療機関のHP掲載（県）</li> <li>禁煙治療サポーター事業（県）</li> </ul>	<b>禁煙支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦・子どもを煙から守るための環境整備事業</li> <li>薬局における禁煙支援</li> <li>特定保健指導等での禁煙支援（県、市町村、関係機関等）</li> </ul>	平成34年度まで ◎成人の喫煙率 男性23%以下 女性 5%以下 ◎未成年者の喫煙率 0% ◎受動喫煙防止対策実施施設 100%
全国 男	33.1	33.7						
青森 男	38.6	40.1						
全国 女	10.4	10.7						
青森 女	12.7	14.2						
<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦の喫煙率 4.6% (H25)</li> <li>妊娠後禁煙 19.4% (H25)</li> <li>小学5年生の母親の喫煙率 26.9% (H23)</li> </ul> ※母親の喫煙は、子の喫煙に影響している			<ul style="list-style-type: none"> <li>未成年者の禁煙相談実施医療機関のHP掲載（県）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙治療医療機関従事者等研修会（県）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙治療実施医療機関のHP掲載（県）</li> </ul>			
未成年者の喫煙経験者（H23未成年喫煙調査） 小学5年生 2.8% 中学1年生 3.5% 中学3年生 8.2% 高校3年生 9.0%			<b>受動喫煙防止</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>未成年者喫煙等実態調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空気クリーン施設認証制度（県）</li> <li>市町村庁舎等受動喫煙防止対策実施状況調査（県）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受動喫煙対策実施状況調査（県）</li> <li>ウェルカムあおもり環境整備事業（県）</li> </ul>			
受動喫煙防止対策実施施設（H23受動喫煙防止対策実施状況調査結果） 全面禁煙 16.7% 施設内禁煙 62.5% 空気クリーン施設認証件数：1,901施設（H26.9）				<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦・子どもを煙から守るための環境整備事業</li> </ul>				
禁煙治療実施医療機関 141ヶ所（H26.10）				<ul style="list-style-type: none"> <li>健診や乳児健診等での普及啓発（市町村）</li> <li>COPDに関する研修会（一般県民・医療関係者）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙週間等におけるポスター掲示等（県、市町村、関係機関等）</li> </ul>			



# 煙からマモル環境整備推進事業

H27戦略プロジェクト ～健康長寿県プロジェクト～

## 【現状・課題】

### 《現状》

1. 青森県の喫煙率は、成人男性40.1%(全国1位)、女性14.2%(全国2位)であり、特に20代では男女共に全国1位である。
2. 空気クリーン施設の登録数が伸び悩んでおり、受動喫煙対策を一層進めていく必要がある。

### 《課題》

1. 喫煙はがんや様々な疾病の危険因子であることから、死亡率減少のためには喫煙者を減らすことが必要である。
2. 喫煙者を減らすためには、受動喫煙防止のための環境づくりや、禁煙治療を受けやすい環境づくり等が必要である。
3. ライフステージに合わせて、喫煙に関する環境が異なることから、ライフステージに沿った取組が必要である。

## 【事業内容】

対象	内容
若年層	<b>①若者の禁煙サポート推進事業</b> 禁煙治療の健康保険適用外(ブリンクマン指数200以下等)となる喫煙者の内、禁煙治療を希望している者を保険者経由でモニターとして募集し、禁煙治療に取り組む中で保険者にはモニターへの指導等の支援を行うことで、若者の喫煙者に対する支援体制構築を図る。
働き盛り世代 未成年者	<b>②実態調査</b> 1) 受動喫煙防止対策実態調査 事業所における受動喫煙防止対策実施状況を把握する。 対象: 官公庁、学校、保育施設、医療機関、事業所等 2) 未成年喫煙・飲酒実態調査 未成年における喫煙・飲酒状況を把握する。 対象: 小学5年、中学1年、中学3年、高校3年
子ども 妊婦	<b>③妊婦・子どもを煙から守るための環境整備事業</b> 受動喫煙により健康へのリスクが高まる妊婦・子どもを受動喫煙から守るために、受動喫煙協力参加店のマップを作成する。 (こどもみらい課にて実施している「あおもり子育て応援わくわく店事業」への参画)
全年代	<b>④ウェルカムあおもり環境整備事業</b> ホテル・旅館における受動喫煙の実施状況や利用客のニーズを把握すると共に、受動喫煙対策に関する普及啓発を行う。

## 【事業成果】

### 環境整備

- ・受動喫煙防止施設数の増加
- ・受動喫煙に関するヘルスリテラシーの普及
- ・若い年代における禁煙支援体制構築

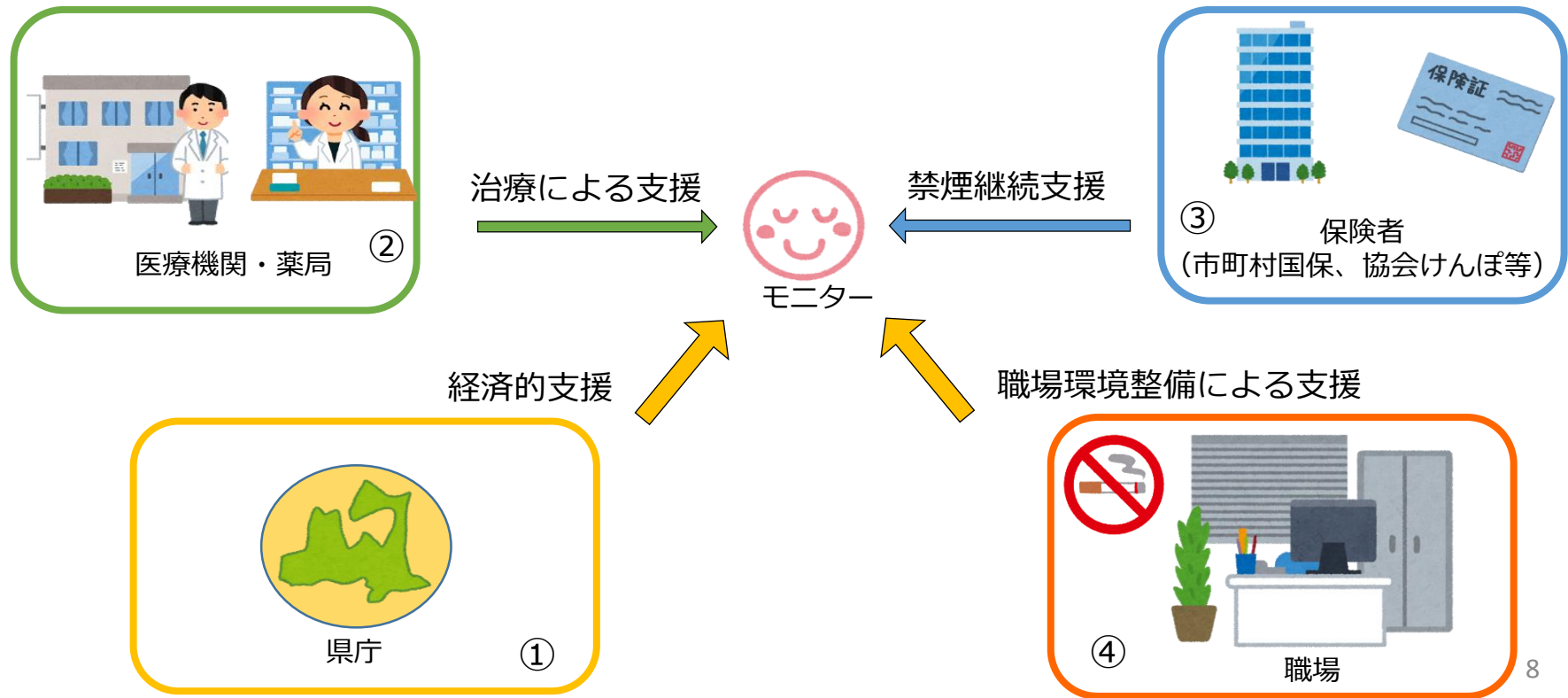
喫煙者の減少と  
受動喫煙による  
健康被害の防止

早世の減少と  
健康寿命の延伸

# 青森県の「若者の禁煙サポート推進事業」の概要

県の事業では、禁煙治療をしたくても、健康保険適用外となる方々に対する下記の支援により、**禁煙をサポートする体制を構築**していきます。

- ① 県は、治療費に対する経済的支援
- ② 医療機関・薬局は禁煙治療の提供
- ③ 保険者は、治療の合間に禁煙を継続するための個別支援
- ④ 職場は、禁煙のための環境整備





## 治療開始まで



## 治療終了・中断後



# 職域肝炎ウイルス検査費助成

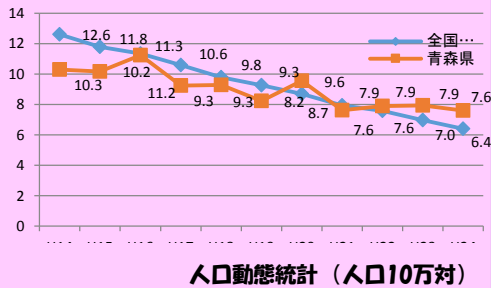
## 【現状・課題】

## 【事業の概要】

## 【評価指標、目標】

### 《現状》

#### 肝がん75歳未満年齢調整死亡率



#### 協会けんぽ実施の肝炎ウイルス検査実績

	H21	H22	H23	H24	H25
受診者	707	918	881	707	777
陽性者	6	4	3	1	3

協会けんぽ加入者で過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない者（35～74歳）

①一般健診と併せて肝炎ウイルス検査の受診を希望

②協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査の受診

③助成申請

④自己負担分を助成

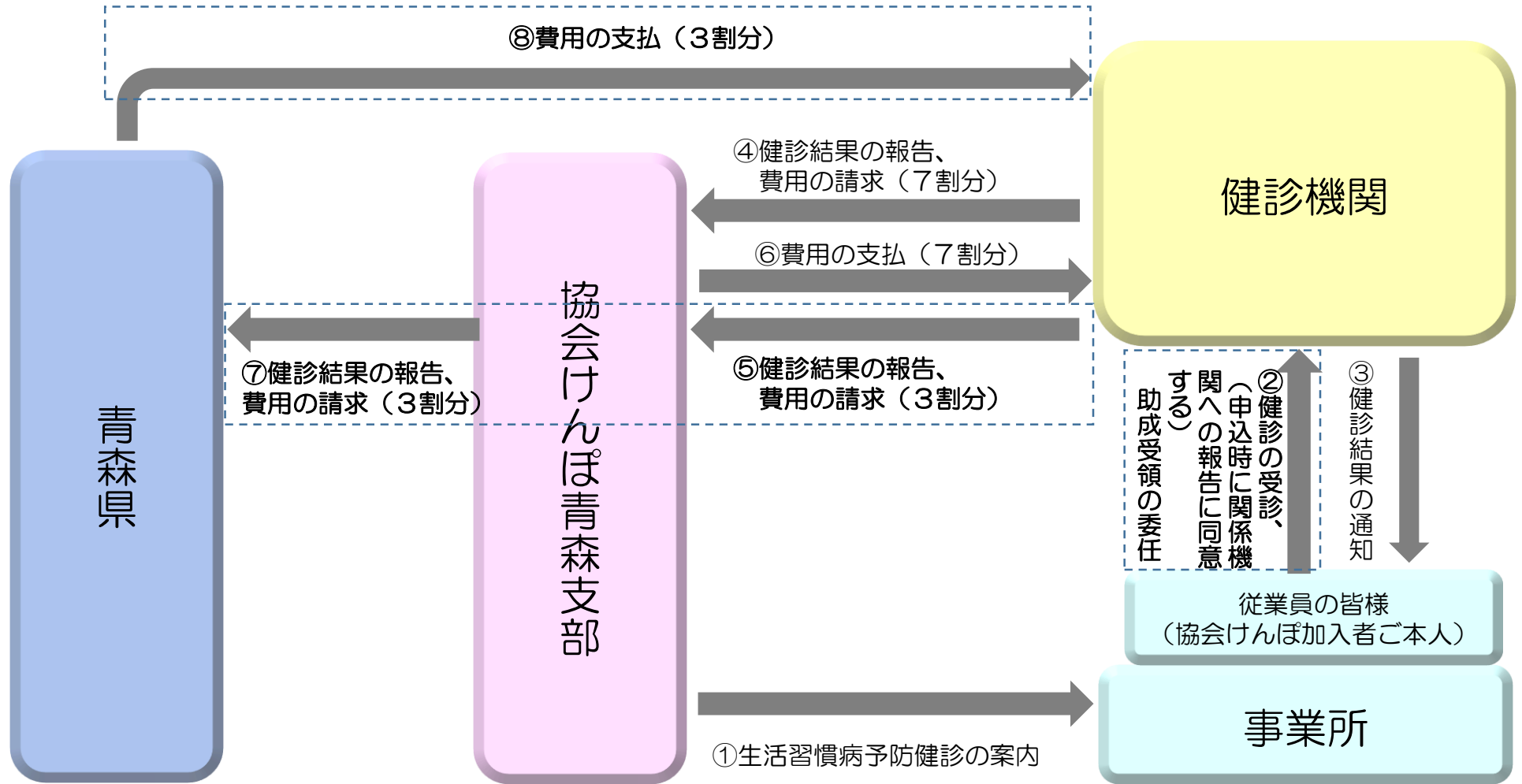
県

協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査の受診者数の増加

↓  
早期発見に結びつけ、肝硬変・肝がんなど肝炎の重症化の予防に寄与する。



# 職域肝炎ウイルス検査費用助成制度における助成の流れ



● 肝炎ウイルス検査は、健診受診当日に本人が直接健診機関に申し込む。また、本人が助成分（612円）の受領を健診機関に委任する。（図の②）

● 健診機関は、健診費用の自己負担分を除いた部分を、1月分をまとめて協会けんぽに請求する。（図の④）

● 健診機関は、健診費用の自己負担分を、1月分をまとめて協会けんぽを経由して県に請求する。（図の⑤）

● 協会けんぽは、健診費用のうち自己負担分を除いた部分を、1月分をまとめて健診機関に支払う。（図の⑥）

● 協会けんぽは、健診機関から県への請求（自己負担分）を取りまとめの上、県に提出する。（図の⑦）

● 県は、健診費用のうち自己負担分を、1月分をまとめて健診機関に支払う。（図の⑧）

# 平成27年度のがん対策の取組

資料5-1

分野別施策	県がん対策推進計画の取組の方向性	27年度事業
<p><b>がん検診受診率等の向上による早期発見と早期治療</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の重要性等に関する県民の理解促進</li> <li>・計画的かつ効率的な受診勧奨等の推進</li> <li>・科学的根拠に基づくがん検診の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「青森県健やか力向上企業等連携」協定締結企業や協会けんぽとの連携(②⑥)～H27年10月末現在 連携企業数26)</li> <li>・企業等トップセミナーの開催(②⑥)～H27.9.8開催 参加者181人)</li> <li>・新聞連載「健活」広報(②⑥)～健康づくり等の四コマ漫画月1回連載等)</li> <li>・<b>市町村がん検診受診率アップ推進事業費補助</b></li> <li>・<b>コール・リコールセンターモデル事業の実施</b></li> <li>・<b>かかりつけ医による健(検)診コール・リコール</b></li> <li>・国民健康保険県特別調整交付金の見直し(②⑦)～)</li> <li>・青森県生活習慣病検診管理指導協議会において協議がなされた事項について、市町村に助言・指導</li> <li>・市町村検診担当者研修会の開催(②⑥)～年2回開催 H27.8.28 1回目開催)</li> </ul>
<p><b>がんの教育・普及啓発</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教養(ヘルスリテラシー)の向上</li> <li>・がんに対する正しい知識の普及啓発</li> </ul> <p>・<b>がん教育(教育委員会)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健やか力検定テキスト作成(②⑥)～小5・中2用、生活習慣病編、H27疾病編)</li> <li>・健やか力検定の実施(②⑥)～受検者-H26:小・中131校、一般271名 H27:小・中募集中、一般800名程度)</li> <li>・企業や団体等における人材養成事業(②⑦)～健やか力推進センター委託事業)</li> <li>・<b>がん情報コンテンツ強化事業</b></li> <li>・<b>健康教育実践研究校(中・高各3校)に対する「がん教育特別授業」の実施</b></li> </ul>
<p><b>生活習慣の改善(受動喫煙の防止)</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙が及ぼす影響に関する正しい知識の普及啓発</li> <li>・未成年者や妊娠中の喫煙防止</li> <li>・受動喫煙防止対策</li> <li>・禁煙支援</li> <li>・空気クリーン施設の認証(施設内禁煙を実施する施設)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>若者の禁煙サポート推進事業</b></li> <li>・妊婦・子どもを煙りから守るための環境整備事業(②⑦)～あおもり子育て応援登録店の中で受動喫煙防止対策実施施設の検索)</li> <li>・事業所、未成年者(小5、中1・3、高3)実態調査(②⑦)</li> <li>・空気クリーン施設認証制度の推進(H27年9月末現在 2,288施設)</li> <li>・禁煙治療医療機関従事者研修会等の開催(一般向:52名、専門職:51名)</li> <li>・喫煙が健康に及ぼす影響に関する正しい知識の普及啓発(全ての年代)</li> <li>・防煙・禁煙教育(未成年)</li> </ul>
<p><b>感染に起因するがんの予防</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎の早期発見・早期治療を推進するための肝炎ウイルス検査に係る普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>職域肝炎ウイルス検査費助成</b></li> <li>・市町村肝炎重症化予防対策事業(早期治療に向けた陽性者のフォローアップ)</li> </ul>